

2020

県連合新春の集い開かれる！
カジノ・さくら見る会・中東派遣許さない！



あいさつする福島みずほ県連合代表



あいさつする福田護氏



一月二十二日(水)、横浜市内において、「2020社民党神奈川県連合新春の集い」(主催 党県連合)が開催されました。
主催者を代表して挨拶した福島みずほ県連合代表(参院議員)は参加者にお礼を述べたあと国会状況にふれ、「暴力的資本主義ではないが外資系や大企業に売り飛ばす条約や法律が次々と成立している。国内では水道の民営化、カジノなど



バクチ解禁法、種子法の廃止、漁業法の改悪、卸業の民営化、国有林伐採の民営化など問題が山積し、雇用・社会保障・教育、格差・貧困・年金など緊急の課題は置き去りになっている。一月二〇日より国会が始まったが、カジノを含むIR疑獄と桜を見る会、そして中東への自衛隊派遣問題で追及していく。カジノを推進しようとする林横



浜市長には辞めてもらうしかない。安倍総理は税金の使い道にしても私物化している。中東地域への自衛隊派遣で言えば自衛隊員の命までも私物化しようとしている。春には桜が咲くが、満開になる前に退陣に追い込まれたい。安倍政権が進めている新自由主義的ではなく、社会民主主義のいう公平・公正、誠実な人々が社会の主人公になる社会の実現に向けて皆さんと共に頑張る。政治スクールも始める。今年が素晴らしく良い年になるよう頑張ろう」と挨拶しました。

安倍政権に引導を渡す年に

あいさつで福田護氏

来賓として挨拶した福田護氏（平和運動センター所長）は「横須賀基地所属の『護衛艦たかなみ』が哨戒機『P3C』を搭載し二月二日に中東地域に派遣される。今までは憲法9条があって日本は戦争をしない・させない国だったが、集团的自衛権・安保法制によって戦争ができる国になってしまった。安倍政権はアメリカからの要請で存立危機事態を理由に非常に危険なところに自衛隊員を送りこもつとしている。辺野古の新基地建設もそうだが神奈川には厚木基地もあり更に自衛隊が肥大化していくことを危惧している。先行きが見えない厳しい闘いになるが、2020年は安倍政権に引導を渡す年にしたい」と述べました。



左から後藤祐一衆院議員、山崎誠衆院議員、畑野君江衆院議員



多くの議員から 激励のメッセージ

参加者議員は県内選出の後藤祐一衆院議員、畑野君江衆院議員、山崎誠衆院議員をはじめ多くの県会議員、横浜市議、川崎市議、相模原市議、一般市議、町会議員らも参加し、それぞれから激励のあいさつ、決意表明など頂きました。また、多くの労働団体、市民団体の皆さまも参加、参加者は二百三十名。



激励にかけつけた自治体議員の皆さん、スピーカーは岸部みやこ県議